

救急災害医学・救急部

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(1 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	3 人	(2 人)
診療助教	2 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	7 人	

2 教員の異動状況

吉野篤人（教授）（平成 25 年 5 月 1 日～現職）

齋藤 岳児（講師）（平成 24 年 4 月 1 日～助教 平成 26 年 8 月 1 日～講師）

高橋善明（助教）（平成 25 年 10 月 1 日～現職）

穂積宏尚（助教）（平成 25 年 8 月 1 日～現職）

辻 孝之（助教）（平成 27 年 1 月 1 日～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	10.75	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)

(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Hozumi H., Enomoto N*, Kono M, Fujisawa T, Inui N, Nakamura Y, Sumikawa H, Johkoh T, Nakashima R, Imura Y, Mimori T, Suda T, Prognostic Significance of Anti-Aminoacyl-tRNA Synthetase Antibodies in Polymyositis/Dermatomyositis-Associated Interstitial Lung Disease: A Retrospective Case Control Study. PLoS One. 10:e0120313; 2015. [3.534]

インパクトファクターの小計 [3.53]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Filjisawa T*, Hozumi H., Kono M, Enomoto N, Hashimoto D, Nakamura Y, Inui N, Yokomura K, Koshimizu N, Toyoshima M, Shirai T, Yasuda K, Hayakawa H, Suda T. Prognostic factors for myositis-associated interstitial lung disease. PLoS One. 29: e98824;2014. [3.534]
2. Suwa K, Saitoh T., Takehara Y, Sano M, Nobuhara M, Saotome M, Urushida T, Kato H, Satoh H*, Sugiyama M, Wakayama T, Alley M, Sakahara H, Hayashi H. Characteristic of intra-left atrial flow dynamics and factors affecting formation of the vortex flow-analysis with phase-resolved 3-dimensional cine phase contrast magnetic resonance imaging Circ J. 79:144-52, 2015. [3.685]
3. Suwa K, Satoh H*, Sano M, Nobuhara M, Saitoh T., Saotome M, Urushida T, Katoh H, Tawarahara K, Ohtani H, Wakabayashi Y, Takase H, Terada H, Takehara Y, Sakahara H, Hayashi H. Functional, morphological and electrocardiographical abnormalities in patients with apical Hypertrophic cardiomyopathy and apical aneurysm: correlation with cardiac MR. Open Heart. 1:e000124, 2014
4. Satoh H*, Sano M, Suwa K, Saitoh T., Nobuhara M, Saotome M, Urushida T, Katoh H, Hayashi H. Distribution of late gadolinium enhancement in various types of cardiomyopathies: Significance in differential diagnosis, clinical features and prognosis. World J Cardiol. 6:585-601,2014.

インパクトファクターの小計 [7.22]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 穂積宏尚, 須田隆文, 顕微鏡的多発血管炎の病態、肺病変の特徴、治療. 呼吸器内科, 25 : 294-302. 2014. [なし]

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 穂積宏尚, 須田隆文. 非特異的間質性肺炎(NSIP)の急性増悪 久保恵嗣, 藤田次郎, 間質性肺疾患診療マニュアル. 南江堂、東京:pp. 241-244, 2014.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(390 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

齊藤岳児 基盤研究C, MRIを用いた心腔内血流の解析、平成25年度～平成27年度、390万円

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	3 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Most Effective Chest Compression and Less Rescuer Fatigue in Caldiopulmonary Resuscitation with Leg-Foot Compression with a Footstool. Saitoh T. AHA Resuscitlon Science Symposium. Nov.17,2014.シシカゴ (アメリカ合衆国) .
2. More Effective Chest Compression and Less Rescuer Fatigue in Cardiopulmonary Resuscilation with Leg-Foot Compression with a Footstool. Saitoh T. The 12th Asia Pacific Conference on Disaster Medicine. Sep.18,2014.東京
3. Anti aminoacyl-tRNA synthetase antibodies can affect technical course in patients with Interstitial lung diseases assoialed with polmyositis/dermatomyositis, Hozumi H. (poster presentation). American Thoracic Society International Conference 2014 May, San diego.

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
 1. 外科的肺生検を施行した間質性肺炎合併・多発性筋炎/皮層筋炎における抗アミノアシル tRNA合成酵素(ARS)抗体陽性例の検討 (ミニシンポジウム). 穂積宏尚 第54回日本呼吸器学会学術講演会 2014年4月 東京.
- 4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道